

第2回農業技能実習事業協議会
(議事要旨)

日時：平成30年12月26日(水) 14時00分～15時00分

場所：農林水産省 第1特別会議室

出席者：

1. 構成員

【監理団体・実習実施者の関係者】

公益社団法人 日本農業法人協会 副会長	笠原 節夫
公益社団法人 日本農業法人協会 参事	中澤 秀樹
全国農業協同組合中央会 常務理事	肱岡 弘典
全国農業協同組合中央会 JA支援部営農担い手支援課 課長	臼井 稔
一般社団法人 全国農業会議所 専務理事	柚木 茂夫
一般社団法人 全国農業会議所 農政・担い手対策部 部長	砂田 嘉彦

【事業所管省庁】

農林水産省 生産局 園芸作物課長	佐藤 紳
農林水産省 生産局 畜産部 畜産企画課長	坂 康之
農林水産省 経営局長	大澤 誠
農林水産省 経営局 就農・女性課長	佐藤 一絵

2. オブザーバー

法務省 入国管理局 入国在留課 法務専門官	矢野 直樹
厚生労働省 人材開発統括官付海外人材育成担当参事官室 技能実習監理官	平岡 宏一
外国人技能実習機構 技能実習部 認定課長	黒田 明雄
全国農業協同組合連合会 耕種総合対策部 次長	本山 浩毅
農林中央金庫 営業企画部 部長代理	長谷川 清彦
全国共済農業協同組合連合会 農業リスク事業部 企画調査グループ 課長	和泉 崇之

議事要旨：

冒頭、農林水産省より以下の旨の開会のあいさつがあった。

- ・昨日(25日)新たな外国人材の受入れのための在留資格「特定技能」(以下「新制度」という)の創設に係る政府基本方針等が閣議決定され、新制度の骨格も固まってきたところ。
- ・新制度を円滑に不正なく導入するためにも、農業関係で外国人を多く受け入れている技能実習制度の適正な運営は欠かせない。このため、今後の取組として、農業関係技能実習の優良事例を収集し、広く現場へ周知するとともに、農業関係技能実習の不正行為等についても把握し、必要な改善を図る取組を行ってまいりたい。
- ・新制度では、適正な受入れ及び外国人の保護等に資するため「農業特定技能協議会(仮称)」を組織することとしているところ、当農業技能実習事業協議会をしっかりと運営することは今後の先行事例として非常に参考となる。
- ・農業発展のために外国人材を適正に受け入れ、運用する点において、新制度も技能実習も同じ。忌憚のない意見、質問等を伺いたい。

1. 農業関係技能実習の運用状況について【構成団体からの報告】

日本農業法人協会

- ・日本農業法人協会の会員企業における技能実習生の受入状況及び技能実習3号への移行状況について報告。
- ・そう菜製造業で実習生を受け入れている会員もいるため、同職種においては現状技能実習2号までしかできず、技能実習3号でも受入れが可能となるよう整備いただきたい。
- ・技能実習機構の支所によっては、技能実習計画等の申請から承認までに時間を要することから改善いただきたい。また、押印する書類が多いため申請書の鑑、誓約書等以外の押印は簡素化していただきたい。web申請できるようになるとより速やかに申請できると考える。
- ・新制度を円滑に運用するためにも、技能実習制度における優良事例については農業技能実習事業協議会以外にも広く広報活動をしていく必要があると考える。

全国農業協同組合中央会

- ・JAやその他関係団体における、監理団体及び実習実施者の取組状況について報告。

全国農業会議所（資料に基づき説明）

- ・資料に基づき、農業技能評価試験の級別、都道府県別、職種・作業別、出身国別等の状況等を説明。

厚生労働省

- ・そう菜製造業の技能実習3号については、平成31年の早い段階で整備したいと考えている。

技能実習機構

- ・地方事務所（支所）によって審査時間に差があるとの申し出については、近々改善が図られる見込み。Web申請の実施依頼については早急には難しいと考える。押印を要する提出書類が多いとの申し出については、一つ一つ意味のあつてのものと思われるが持ち帰って確認したい。

2. 農業関係の技能実習をより適正に実施するための取組について

事務局より、農業関係の技能実習をより適正に実施するための取組の確認案について説明。

「農業関係の技能実習をより適正に実施するための取組の確認」（平成30年12月26日付農業技能実習事業協議会決定第3号）について、提案のとおり協議が調った。主な意見は以下のとおり

- ・農業関係団体で作っている農業労働力支援協議会としても、受入れ側で違反があった際には外国人の受入れを中止させるといった自主ルールを明文化できないかと考えている。
- ・優良事例の収集及び横展開について、技能実習機構に提出する「優良要件適合申告書」において、具体的取組を記載しているので、その内容を共有したい。また、優良な実習実施者及び監理団体に対する表彰等によりインセンティブを持たせることも良いのではないかと。
- ・農業分野の技能実習における優良事例等を広く情報発信していくべきではないかと。

- ・優良事例の収集・横展開について、現時点でも把握に努めているが、今後とも、事例を情報共有したい。
- ・優良事例を収集した後は監理団体、実習実施者が労務管理等の参考となるよう発信すべき。また、不正行為等の原因をしっかりと解明することが、失踪防止等に繋がる重要な取組であると考えられる。
- ・優良事例の横展開等に当たって、地域の農家向けの研修会を継続的に開催していく必要があるのではないか。